

じゅしゅう

光寿無量

旧年中は大変お世話になりました。
 失敗を恐れることなく、新しいことに挑戦
 し続けていきたいと思っております。何事に
 も一生懸命努めてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

吉富山浄覚寺 寺族一同



第57号
(通算397号)

発行元
 浄土真宗本願寺派
 吉富山 浄覚寺
 大阪市平野区
 長吉長原3-1-10
 06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

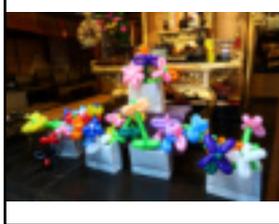
- ・1月17日(水)
10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットは無料貸し出しもありますので、ぜひご参加をお待ちしております。

第23回 浄覚寺いじり会 冬のしんじゆ

昨年十二月十七日、浄覚寺にお餅つきが帰ってきました。コロナウイルスの影響で三年間は見合わせておりましたが、ようやくお餅つきを含めた以前のようなことも会を開催することができました。それでもご心配はあるかと思いましたが、自分で丸めたお餅は自分で食べ、自分で持って帰るといふことを説明し、ご理解をいただきました。

久しぶりのお餅つきの後は豚汁のお昼ご飯をいただき、制作、ゲームと進めていきます。制作ではバルーンアートを行いました。細長い風船を折り曲



げていき、イヌやネズミといった基本の形で練習した後には左の写真のように一人一輪の花を作ってもらって、色とりどりのお花を尊前にお供えしました。

私たちの生活する社会では競い合い、いつでも一番を決められていく世の中です。けれど、阿弥陀さまから見られた私は、色とりどりの一輪の花に例えられ、そのまま百点満点と寄り添ってくださいます。

地中蓮華 大如車輪

青色青光 黄色黄光

赤色赤光 白色白光

微妙香潔

舍利弗 極楽国土

成就如是 功德莊嚴

『仏説阿弥陀経』



御文章に聞く(第50回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。浄土真宗では、「信心をたまわった者は、必ずお浄土に往生するといわれます。それは、私の人生の真の目標であつたと知らされることでもあります。それでは、お浄土に生まれることにどんな意味があるのでしょうか。それ

八万の法蔵章(五帖第二通)
 それ、八万の法蔵をしるというとも・後世をしらざる人を愚者とす、たとい一文不知の尼入道なりというとも・後世をしると智者とすといえり、しかれば当流のこころは・あなたがちにもろもろの聖教をよみ、ものをしりたりというとも・一念の信心のいわれをしらざる人は・いたずらごとなりとしるべし、

あらゆる人びとを平等に救うはたらきは必要ないと思われませんか。自分だけが救われたらいいのでしょうか。私も仏になるいのち、あなたも仏になるいのち。だからこそお互いに敬い合う、争いのない世界が開かれると思うのです。

は、お浄土に生まれて仏のさとりをひらき、愛憎を超えてあらゆる人びとを平等にすくつてゆくためなのです。自分自身が恵まれたのと同じ人生の幸せを、あらゆる人びとに実現してゆくために、無限にはたらき続けていくのだといわれます。
 ここに阿弥陀仏の本願によつて、たまたま恵まれた人生の、生き方と死の意味が明らかに知らされます。その上で、まじめに生と死を考えながら、人生を大切に生きてゆく、そのような価値観に根ざす生き方を「後世」(後生の一大事)というのです。

仏教語辞典



塩梅

仏教では「えんばい」と読み、声明や雅楽を演奏する際に、楽譜にはない師匠の読みぐせなどを表現する。塩梅音ともいい、これがあるとなじみは味わいが全然違ってくる。ただちようど良い塩梅にしておかないと、クドいだけになってしまうので注意が必要。

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「しゅごう」をお届け致します。こども会とヨガ教室が終わり、今年予定した行事を全て勤めることができました。コロナ禍もようやく落ち着きを見せてきており、少し安堵した一年となりました。皆さまにはお世話になり、本当に有難うございました。(釋法道)

2月

第四回 仏教文化講演会

日時・二月二十五日(日) 十四時より

講師・桂吉坊先生/当山住職

テーマ・法話と落語、トークイベント

落語の源流を調べていくと

「法話に行き着くそうです。

お互いをリスpektしたて

法話と落語、その後は参加

型のトークイベントを行います。

ぜひお申し込みください。



行事案内

日時・令和六年一月一日(祝) 十四時より

行事・元旦会

場所・長原浄覚寺

法話・寺西覚水先生(節談説教)

新年のご挨拶をさせていただきます。ぜひお参りください。

(なお、一月の月参りは六日から伺います)

日時・令和六年一月十四日(日) 十四時より

行事・浄覚寺仏教婦人会総会(会員のみ)

法話・当山住職

会員物故者追悼法要を併修させていただきます。

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)